

-----11月23日-----

## 今週のアウトルック(11/23～11/27)

先週は個人的な感想として「落ち切らなかった」という印象が強い一週間でした。

原因としては先行き不安を感じさせる経済指標にも関わらず、NYダウが調整トレンドに入っていない点が大きいと思います。

一方、日経平均は大幅な調整に入っているようです。中国や欧州各国も頭打ち感が強くなっているように思います。

今週はNYダウ以外のトレンドを追隨して、全体的な本格調整期となるのか、それとも売られ過ぎ感から買い戻しが優勢となるのか、大きく味方が分かれる週となりそうです。

ドル円は88.75円あたりのレジスタンスに支えられているようです。一気に88円あたりまでは行きそうなイメージを持っていたのですが、思いのほか強い抵抗にあっている感じです。

もし、このまま支えられてしまうと90円近くまでの戻りはあってもよさそうです。その場合は12月の中旬あたりまではレンジを大きく抜けることはなくなってしまうのかもしれない。

予想レンジは88円から90円です。

ユーロ円は132円あたりのレジスタンスに支えられてしまっている形になっています。こちらも130円あたりまでは一気に行ってしまいうようなイメージもあったのですが、その前に阻止されてしまったようです。逆の見方をすれば130円あたりのレジスタンスは意外に弱いのかもかもしれません。欧州関連のマクロ指標も少しずつ弱いものが目立つようになっています。このあたりに注目する状況が強まるのか、それとも売られ過ぎからの買い戻しが優勢となるのか、こちらも見方が分かれるところだと思います。

週初は134円あたりまで、一度戻す可能性が強いのかもかもしれません。予想レンジは130円から134円です。

ポンド円は、少しずつ円高方向に下げている印象はあります。145円を一気に切ってくると、140円あたりまでの下落はあるのかもかもしれません。格下げ予測や、何か弱いマクロ指標が出てしまうと一気にその機運が高まりそうです。

ただ、今週はまだその可能性はあまり高くないのではとも考えています。予想レンジは145円から150.5円です。

今週前半は買い戻し優勢で、後半は乱高下の可能性も否定できないように思います。ストップロスの設定が難しい時期に来ているようにも感じます。あまり期待感優先のポジションは持たない方が良くもかもしれません。

\* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。